

■事例紹介① ため池改修 RE-1 保護池改修工事

池干し 底樋改修のための水抜き 06年01月09日(月)



池の底板と底石積み 06年01月17日(火)



底板の上へ石積を行っているところです。干しあげてあった酸化土と還元泥との違いがよくわかります。酸化土は奥の茶色い土です。鉄分が酸化してやや茶色身を帯びてきます。しかし、手前の泥は還元泥で、硫化水素のくさい臭いが残っています。

二段目の池底 01月18日(水)



池の構造は二段底にします。内側の深みが約5m×4mで深さは水面から約130cm～120cmになる予定です。まずは、松材の底板をはめ込み、その上に石を積み上げていきます。この内底の一番深いところに底樋の床石を設置します。池のサイズは約12m×12mでの外側の底は最大水深が60cm～70cmになり、山側はドブガイの繁殖場になるように緩やかな傾斜にします。

底樋の設置 06年01月19日(木)



底樋排水と池上段石積み 06年01月21日(土)



保護池RE-1完成 06年01月26日(日)



2年間干し上げていたため池のヘドロは、還元泥から酸化土に変わり、その酸化土を池全体に加え、給水した。